

まちの話題



高見団地建設工事暴力団等 排除連携会議発足式

11月25日、高見団地建設工事暴力団等排除連携会議発足式が行われました。

高見団地建設工事暴力団排除連携会議とは、暴力団に利益を与えることが無いよう、公共工事への暴力団等の不当な介入を排除し、公共工事の適切な執行を確保することを目的とし平成30年に制定された「うきは市発注の公共工事に係る暴力団等排除連携会議設置要綱」に基づき設置されるものです。

今年度より行われる市営住宅高見団地建替工事の各関係者が、暴力団排除のための知識や取り組みを習得し、本工事の不当介入に係る情報の収集及び交換、各関係者間の連絡及び調整、及び暴力団等に対する対応等の研修を行うことを目的としています。

式当日は、うきは警察署長及びうきは市長の挨拶の後に、施工業者代表による宣言書の朗読が行われました。



旭日単光章が授与されました

12月2日、内閣総理大臣より末金サナへさん（三牟田区、88歳、写真右）へ、「旭日単光章」が授与されました。

「旭日単光章」は公共的な業務での功労者に贈られる叙勲で、末金さんは平成3年から3期12年にわたり吉井町議会議員を務め、産業建設常任委員会副委員長などを歴任されました。環境保全活動にも尽力され、二酸化炭素の吸収性が高く、地球温暖化防止に効果があるとされる「ケナフ」の栽培と普及活動を現在も継続されています。



総合計画を市長へ

12月2日、総合計画審議会（高山敏枝会長、古賀恒徳副会長）より市長へ、総合計画策定に対する答申書が提出されました。

総合計画（後期基本計画）は、令和3年度から5年間のまちづくりの指針となるもので、市の最上位計画です。策定した総合計画は、今後、市民の皆様にお知らせします。



令和2年度 税の作文表彰

12月11日、将来を担う中学生・高校生に税についての理解を深めていただくため、国税庁等が昭和37年度から毎年実施している税についての作文の表彰が行われました。

久留米税務署管内で高校生1,224編、中学生479編の応募があり、浮羽究真館高校1年生梶原ももみさん（写真左）が「美しい地平線を」で久留米税務署長賞を受賞されました。また、浮羽究真館高校1年生中尾心音さん（写真中央）が「わたしたちと税」で、吉井中学校2年生田中真汎さん（写真右）が「消費税は国民のためにある！本当に？」で、うきは市長賞を受賞されました。